

R 4 6月 全校朝会

6月1日（水）

みなさん、おはようございます。

今日から6月です。もうすぐ、梅雨が始まります。外を歩くときに、きれいなアジサイのお花が咲いていることに気が付いている人も多いと思います。雨が降る日が増えるので、嫌だなあと思うかと思いますが、雨が降った日に、どうしたら教室の中で楽しく過ごせるかなと、方法をみんなで考えたりしながら、協力をして、上手に、安全に、さわやかに過ごしてほしいと思います。考え方を変えれば、色々と可能性が広がり、梅雨の時期も楽しく過ごせると思います。

さて、今日は私たちにとって一番大切な「命」のことについて、少し立ち止まって考えてみたいと思います。

はじめに、私たちが、この世に「人間」として生まれてくる確率はどの位だと思いますか？

1億円の宝くじが百万回連続で当たる確率 × 60兆個 = 人間に
生まれる確率

飛行機から砂漠に朝顔の種を落として、それを見つけて帰ってくるようなもの らしいです。

みなさんは、今、当たり前のように生きているかもしれませんが、人

間としてこの世に生まれたのは、とにかくにも、『奇跡的』なことなのです。私たち一人一人の命は、『奇跡』が起きて誕生したということですね。

そして「命」は、みなさんのお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、そのまたおじいちゃんやおばあちゃん・・・と、ずっとさかのぼって、先祖代々つながって、引き継がれたものですね。

さて、みなさんの「命」は、どこにありますか？と言われたら、何と答えますか？

「命」は、形としては目には見えないですね。世の中、本当に大切なものは、目に見えない、見えにくいことが多いのではないかと思います。

そして、「命」って、何ですか？と聞かれたら、みなさんは何と答えますか？もちろん、「一番大切なもの」と答える人が多いと思いますが、さらに、先生は、「命」とは「みらい」だと思っています。「生まれる」とは、「みらいがはじまる」こと、逆に「死ぬ」とは、「みらいがなくなること」だと思っています。

「命」があれば、「みらい」があれば、色々な可能性が無限大に広がります。

そんな大切な「命」ある自分、そして自分以外の人も、大切に、大切

にしてください。

皆さん一人一人は、かけがえのない大切な存在です。皆さんの家族の人たちにとってももちろんのこと、まわりのお友達、先生たちにとっても、みなさん一人一人は、誰にも変えられない、かけがえのない一人一人だということを、忘れないでください。隣にいるお友達も、みんな、同じ人は存在しない、大切な一人です。そして、自分の命も自分以外の人の命も大切に作る仲町小学校のみんなであってほしいと心から願っています。

奇跡的に皆さんは生まれてきたということ、「命」があるということは、無限の可能性がひろがる「みらい」があるということ、みなさん一人一人は、この世で一人しかいない、かけがえのない、大切な存在だということ、をお話ししました。

今日は、「命」について、考える時間としました。

以上で、お話を終わります。